



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 大幸薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,845	34.4	2,619	102.4	2,717	101.9	1,918	53.8
25年3月期第3四半期	5,835	20.1	1,294	55.5	1,345	59.6	1,247	77.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,998百万円 (59.6%) 25年3月期第3四半期 1,251百万円 (82.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	149.95	145.17
25年3月期第3四半期	97.57	96.22

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,783	11,475	72.3
25年3月期	13,016	9,478	72.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 11,408百万円 25年3月期 9,420百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

配当予想の修正については、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「平成26年3月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	23.6	2,200	96.3	2,250	85.7	1,440	38.8	112.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	13,340,200 株	25年3月期	13,071,600 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	390,179 株	25年3月期	390,179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	12,793,847 株	25年3月期3Q	12,786,415 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、平成26年2月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）の売上高は、感染管理事業が大きく躍進し、海外向け医薬品事業も好調に推移したことから、対前年同期比2,009百万円増（34.4%増）の7,845百万円となりました。

販売数量増加による増益影響、相対的に利益率の高い製品の販売増加、さらに円安効果等から、売上総利益は対前年同期比1,690百万円増（44.5%増）の5,486百万円となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、製品認知度向上と店頭販促強化を目指したTVCM増量により広告宣伝費が増加したものの、売上総利益が大幅に増加したことから、営業利益につきましても対前年同期比1,324百万円増（102.4%増）の2,619百万円となりました。経常利益は円安進行による為替差益の計上により増益幅がさらに拡大し、前年同期比1,371百万円増（101.9%増）の2,717百万円、四半期純利益は、対前年同期比670百万円増（53.8%増）の1,918百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

#### (医薬品事業)

国内向けにつきましては、止瀉薬市場の縮小傾向や競合他社のシェア増加に対し、若年層獲得に向けた広告宣伝や店頭販促等を実施したことから、第3四半期（10月～12月）において主力の『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』は前年同期を上回ったものの、第2四半期までの落ち込みにより、当第3四半期は対前年同期比で微減となりました。

海外向けにつきましては、中国市場及び香港市場において、『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』が好調に推移したことに加え、円安効果もあったため、前年同期を大きく上回りました。

このように、国内向けの減少を海外向けの増加が大きく上回ったことから、当第3四半期の医薬品事業の売上高は、対前年同期比382百万円増（9.4%増）の4,457百万円となりました。また、損益面につきましては、円安による増益及び製造原価における固定費等の減少による利益率改善等から売上総利益が大幅に増加したことに加えて、販売費及び一般管理費も対前年同期比微減であったことから、セグメント損益は対前年同期比414百万円増（24.5%増）の2,106百万円の利益となりました。

#### (感染管理事業)

一般用製品につきましては、主力製品『クレベリンゲル』を中心に、ドラッグストア等の小売店における早期の店頭展開、調剤薬局やホームセンター等の新規販売チャネルの開拓、さらに、店頭販促強化やTVCMの増量等により店頭消化も前年同期を上回る水準となる等、前年同期比で売上高が飛躍的に伸長しました。また、業務用製品につきましても、従来のゲル剤の他に株式会社デンソーと共同開発した『クレベリンカートリッジ（車両用）』や新製品『クレベリンパワーセイバー』等も好調に推移しました。

これらにより、当第3四半期の感染管理事業の売上高は、対前年同期比1,623百万円増（93.0%増）の3,370百万円となりました。損益面につきましては、返品調整引当金繰入額は増加したものの、相対的に利益率の高い一般用製品の売上高が大幅に伸長したことから、売上総利益は前年同期を顕著に上回りました。また、製品認知度向上と店頭販促強化を目指してTVCMを増量したことにより販売費及び一般管理費は増加しましたが、セグメント損益は、対前年同期比895百万円増（174.5%増）の1,408百万円の利益となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は前年同期比3百万円増（21.9%増）の17百万円となった一方、木酢製品関連費用の発生からセグメント損益は対前年同期比1百万円増の13百万円の損失（前年同期は15百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は15,783百万円（前連結会計年度比2,766百万円増）となりました。また、負債合計は4,307百万円（同769百万円増）、純資産合計は11,475百万円（同1,996百万円増）となりました。前連結会計年度からの主な変動要因は、売上高増加に伴う受取手形及び売掛金の増加や現金及び預金の増加等による流動資産2,690百万円の増加、未払法人税等や返品調整引当金の増加等による流動負債731百万円の増加、利益剰余金の増加等による純資産1,996百万円の増加であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度から0.1ポイント低下し、72.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年2月5日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,173,034	5,802,543
受取手形及び売掛金	2,638,651	4,426,830
商品及び製品	553,035	745,789
仕掛品	635,706	557,278
原材料及び貯蔵品	209,896	196,614
その他	282,875	470,608
貸倒引当金	△19,003	△34,500
流動資産合計	9,474,195	12,165,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	992,399	947,602
機械装置及び運搬具(純額)	335,047	312,239
土地	1,330,450	1,330,450
その他(純額)	141,698	167,369
有形固定資産合計	2,799,596	2,757,662
無形固定資産	42,046	34,972
投資その他の資産	701,142	825,387
固定資産合計	3,542,785	3,618,022
資産合計	13,016,981	15,783,187
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	444,562	412,706
未払金	1,253,452	960,986
未払法人税等	76,904	909,339
返品調整引当金	267,000	528,000
賞与引当金	174,939	160,450
役員賞与引当金	94,500	—
その他	191,097	262,790
流動負債合計	2,502,456	3,234,274
固定負債		
長期未払金	562,700	562,700
退職給付引当金	460,863	483,431
その他	12,009	26,903
固定負債合計	1,035,572	1,073,035
負債合計	3,538,029	4,307,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	178,169	268,397
資本剰余金	89,398	179,626
利益剰余金	9,473,207	11,201,361
自己株式	△281,714	△281,714
株主資本合計	9,459,059	11,367,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,135	37,033
為替換算調整勘定	△67,954	4,015
その他の包括利益累計額合計	△38,818	41,048
新株予約権	58,711	67,158
純資産合計	9,478,952	11,475,876
負債純資産合計	13,016,981	15,783,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,835,287	7,845,229
売上原価	1,887,028	2,097,736
売上総利益	3,948,259	5,747,492
返品調整引当金戻入額	239,000	267,000
返品調整引当金繰入額	391,000	528,000
差引売上総利益	3,796,259	5,486,492
販売費及び一般管理費	2,501,949	2,867,423
営業利益	1,294,310	2,619,069
営業外収益		
受取利息	2,387	2,917
受取配当金	1,546	1,721
受取賃貸料	6,386	6,225
為替差益	36,867	83,701
受取保険金	3,691	—
その他	7,273	5,245
営業外収益合計	58,153	99,812
営業外費用		
賃貸費用	1,206	473
支払手数料	4,145	—
その他	1,407	773
営業外費用合計	6,759	1,246
経常利益	1,345,704	2,717,635
特別利益		
新株予約権戻入益	—	7,017
特別利益合計	—	7,017
税金等調整前四半期純利益	1,345,704	2,724,652
法人税、住民税及び事業税	89,763	949,463
法人税等調整額	8,399	△143,185
法人税等合計	98,163	806,277
少数株主損益調整前四半期純利益	1,247,541	1,918,375
四半期純利益	1,247,541	1,918,375

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,247,541	1,918,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△740	7,897
為替換算調整勘定	5,197	71,969
その他の包括利益合計	4,456	79,867
四半期包括利益	1,251,998	1,998,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251,998	1,998,242
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,074,589	1,746,542	14,155	5,835,287	—	5,835,287
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,074,589	1,746,542	14,155	5,835,287	—	5,835,287
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,692,528	513,072	△15,325	2,190,275	△895,964	1,294,310

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,457,452	3,370,521	17,255	7,845,229	—	7,845,229
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,457,452	3,370,521	17,255	7,845,229	—	7,845,229
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	2,106,597	1,408,162	△13,450	3,501,309	△882,239	2,619,069

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。